

1. 生糸 2. 銀 3. 硝石 4. 香料

1. 武家の住居様式である書院造の形式を忠実に守り、広大な床の間を備えている。
2. 中国から伝来した高価な茶器を並べて鑑賞するために、明るい照明と広い空間を確保している。
3. 金箔をふんだんに使用し、時の権力者の富と権威を誇示する造りとなっている。
4. 畳の広さをわずかに二畳にするなど、極限まで無駄を削ぎ落とした空間となっている。

1. 版籍奉還 2. 兵農分離 3. 廃藩置県 4. 地租改正

1. 都市の町人が主役となり、浮世絵や歌舞伎など庶民の風俗を反映した娯楽が流行した。	2. 禅宗の影響を強く受け、簡素で落ち着いた趣を尊ぶ「わび・さび」の精神が建築や庭園に反映された。	3. 大名の権威を示すための城郭建築が発達し、内部は金箔を背景にした力強い障壁画で飾られた。	4. 貴族が中心となり、日本の自然や風土を繊細に表現する「国風」の美意識が追求された。
--	---	--	---

1. 「文芸復興」とも呼ばれ、ポッティエリなどの芸術家が人間中心主義に基づいた作品を残した。
2. 免罪符（贖罪状）の販売を批判したことをきっかけに、キリスト教の信仰のあり方を問い直した。
3. 科学的思考を重んじ、理性の力によって社会の仕組みや不合理を改革しようとした。
4. 絶対王政の時期に、王の権威を象徴するために豪華で装飾的な芸術様式が確立された。

1. 刀狩 2. 太閤検地 3. 楽市・楽座 4. 公地公民

1. ローマ教皇の権威を絶対的なものとし、国王の権力を制限しようとした。	2. 蒸気機関の改良によって生産能力を向上させ、資本主義経済を確立した。	3. 聖書の教えを重視し、それまでの教会の儀式や仕組みを批判した。	4. 聖地エルサレムをイスラム教勢力から奪還するために軍隊を派遣した。
--------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------

1. キリスト教の布教が進むことで信者が団結し、自らの国内支配の妨げになることを恐れたため	2. 平等院鳳凰堂に見られるような浄土信仰を全国に広め、宗教による平和な世の中を目指したため	3. 明治維新の改革の一環として、欧米の思想を完全に取り入れるために古い禁教令を廃止したため	4. 仏教の新しい宗派である日蓮宗の勢力を抑えるために、キリスト教を国教に指定しようとしたため
---	--	--	---

1. 歌川広重が「東海道五十三次」を描き、浮世絵が庶民の間に広く親しまれた。
2. 近松門左衛門が人形浄瑠璃の脚本を執筆し、上方を中心に町人文化が発展した。
3. 尾形光琳が「八橋蒔絵螺鈿硯箱」などの工芸品を制作し、装飾性の高い美学を確立した。
4. 千利休が「わび茶」を完成させ、簡素な美を重んじる茶の湯が武士の間でも流行した。

1. 豊臣秀吉 2. 徳川家康 3. 足利義昭 4. 織田信長

1. 鉄砲の運用には高度な修行が必要だったため、武士以外の階級が手にすることは禁じられていた。
2. 鉄砲の製造コストが高すぎたため、農民が鉄砲を所有して一揆を起こすことは不可能だった。
3. 農民が鉄砲を手にして自衛や組織化を行い、山城国一揆などの武装蜂起において主要な軍勢力となった。
4. 鉄砲はあくまで狩猟用の道具としてのみ農村に広まり、争いに使われることはなかった。

1. フランスの沿岸部に位置し、ドーバー海峡に面している

1. 蒙古襲来 → 平治の乱 → 応仁の乱 → 長篠の合戦
2. 平治の乱 → 蒙古襲来 → 応仁の乱 → 長篠の合戦
3. 平治の乱 → 応仁の乱 → 蒙古襲来 → 長篠の合戦
4. 蒙古襲来 → 応仁の乱 → 平治の乱 → 長篠の合戦

答え合わせ・解説

問1	答え 3 硝石	鉄砲の伝来とともに、その使用に不可欠な火薬の原料である硝石（しょうせき）が輸入されるようになりました。当時の日本は銀を豊富に産出していたため、銀を輸出して硝石や中国産の生糸などを入手していました。これは戦国時代の戦術に大きな影響を与えました。
問2	答え 4 畳の広さをわずかに二畳にするなど、極限まで無駄を削ぎ落とした空間となっている。	妙喜庵にある待庵は、千利休の思想が反映された現存する唯一の茶室遺構とされています。わずかに二畳という極めて狭い空間に、土壁やにじり口（小さな出入り口）を設けることで、茶室の中では身分の差を忘れ、主客が対等に向き合う精神的な深まりを追求しました。
問3	答え 2 兵農分離	豊臣秀吉は、農民が一揆を起こすことを防ぎ、また年貢を確実に納めさせるために刀狩を行いました。同時に太閤検地によって農民の権利と納税の義務を確定させたことで、戦う役割の武士と耕作する役割の農民という区別が明確になり、社会の安定化が図られました。
問4	答え 3 大名の権威を示すための城郭建築が発達し、内部は金箔を背景にした力強い障壁画で飾られた。	戦国時代を勝ち抜き、天下統一を進めた大名たちは、自らの権力を誇示するために壮大な城郭を築きました。その城の内部を飾るために、狩野永徳などの絵師によって、金箔をふんだんに使った豪華な襖絵や屏風といった障壁画が描かれました。これは、当時の大名の圧倒的な権力や、海外貿易などで力をつけた豪商たちの経済力が反映された、安土桃山文化の大きな特徴です。
問5	答え 1 「文芸復興」とも呼ばれ、ボッティチェリなどの芸術家が人間中心主義に基づいた作品を残した。	ルネサンスは、古代ギリシャ・ローマの古典文化を再生（復興）させることで、中世の教会中心の価値観から脱却し、人間のありのままの姿や個性を肯定する「人間中心主義（ヒューマニズム）」を基盤としました。ボッティチェリの『春』などは、この時代の精神を象徴する作品の一つです。
問6	答え 3 楽市・楽座	織田信長が行った楽市・楽座は、寺社や公家に保護されていた「座」の特権を排除し、誰もが自由に商売を行えるようにした政策です。これにより城下町に多くの商人を集め、流通を活発にすることで、自身の経済力を強化する狙いがありました。
問7	答え 3 聖書の教えを重視し、それまでの教会の儀式や仕組みを批判した。	ルターは「信仰義認説」を唱え、人は善行や儀式ではなく、神の言葉が記された聖書への信仰によってのみ救われると考えました。この思想は、当時大きな権力を持っていたカトリック教会の体制を根本から揺るがすことになりました。
問8	答え 1 キリスト教の布教が進むことで信者が団結し、自らの国内支配の妨げになることを恐れたため	豊臣秀吉は、九州平定の際にキリスト教が急速に広まっている実態を目の当たりにしました。キリスト教徒が神を絶対視して団結することや、一部の戦国大名が領地を教会に寄進している状況が、自身の天下統一後の支配体制に悪影響を及ぼすと判断し、宣教師の国外追放を命じました。一方で、南蛮貿易による利益は重視していたため、貿易そのものは継続させようとしたため。
問9	答え 4 千利休が「わび茶」を完成させ、簡素な美を重んじる茶の湯が武士の間でも流行した。	桃山文化は豪華さが目立つ一方で、内省的で簡素な美しさを求める「わび茶」が千利休によって大成された時代でもあります。尾形光琳や近松門左衛門は江戸時代の元禄文化、歌川広重は江戸時代後期の化政文化を代表する人物であり、これらと混同しないよう注意が必要です。
問10	答え 1 豊臣秀吉	織田信長が本能寺の変で倒れたあと、その事業を引き継いで全国統一を完成させたのは豊臣秀吉です。秀吉は1582年以降に急速に勢力を拡大し、1598年に没しました。これは1600年の関ヶ原の戦いのわずか2年前のことです。また、大阪城を築いて支配の拠点としたことも大きな特徴です。
問11	答え 3 農民が鉄砲を手にして自衛や組織化を行い、山城国一揆などの武装蜂起において主要な軍勢力となった。	当時の古い絵図などの資料からは、農民が鉄砲を手に持って武装し、一揆などの軍事行動に参加していた様子が描かれています。鉄砲の普及は、専門の訓練を積んだ武士以外の層でも高い殺傷能力を持つことを可能にし、社会全体の勢力図や武装のあり方に大きな変化をもたらしました。
問12	答え 2 イベリア半島の西側に位置し、大西洋に面している	16世紀に日本へ南蛮文化を伝えた国はポルトガルです。ポルトガルはヨーロッパ大陸の西端であるイベリア半島に位置し、西側は大西洋に面しています。この地理的条件から、大航海時代にはいち早く大西洋へと漕ぎ出し、アジア方面への航路を開拓しました。
問13	答え 2 平治の乱 → 蒙古襲来 → 応仁の乱 → 長篠の合戦	平治の乱は平安時代末期（1159年）に発生し、平清盛が武士として初めて政治の実権を握るきっかけとなりました。蒙古襲来（元寇）は鎌倉時代中期の13世紀後半に起こった対外戦争です。応仁の乱は室町時代の1467年に始まり、これを機に戦国時代へと突入しました。長篠の合戦は安土桃山時代の1575年、織田信長が鉄砲を組織的に用いて武田勝頼の騎馬隊を破った戦いです。したがって、時代区分に沿って平治（平安末）、蒙古（鎌倉）、応仁（室町）、長篠（安土桃山）の順となります。